

ここが聞きたい 一般質問

考えており、オール奥州体制で推進してこそ、大きな効果が期待できるものと考えております。

○総合水沢病院改革について



たかはし かつし
高橋 勝司 議員

質問 平成20年度の決算の見通しについて伺います。

事業管理者 患者数は昨年度を下回ったものの、看護師の早期退職をはかる等で赤字の額は当初予算よりも1億3千万円ほど少ない、3億9千万円程度になる見込みです。

質問 病床利用率向上対策など経営について伺います。

事業管理者 病床利用率の向上対策として、本年度は内科医師1名が増員となったことから、※亜急性期病床を拡大して病床利用率の向上を図りたいと考えています。

※亜急性期病床：怪我や病气への急性期治療が終了した患者に対し在宅復帰に向けて、活動性の向上を目指したりハビリテーションの実施など、効率的かつ密度の高い医療を提供する病室をいう。

質問 医師確保と、医療機器等、医療環境の整備の現状と見通しについて伺います。

事業管理者 水沢病院は医療機器に限らず、建物や設備など全般に古くなっており特に医療機器の多くが耐用年数を過ぎている状態にあります。機器や設備の更新は、医療技術の高度化への対応や医師の士気高揚においても整備が必要です。経営収支の動向などにも配慮しながら、計画的に整備してまいります。



更新が待たれるMRI（水沢病院）

質問 大川正裕水沢病院事業管理者に市民は大きな期待をしています。改革にかける想いを伺います。

事業管理者 医師確保は当院の最

重点課題です。それと併せて肝要なのは、現在の医師に辞められないような離職防止策が必要と考えております。患者・家族の方々から「ありがとう」の一言・暖かい心、優しいまなざしが医師の定着化につながることも云われています。不安定な事業経営であります。改革プランの実現のため全力を尽くしたいと思っております。

○市民公益活動団体支援事業について ○小谷木橋架け替えについて



みやけ まさかつ
三宅 正克 議員

質問 市民公益活動団体（0・4％）支援事業について、投票締切から結果が公表されるまで3週間ほどかかった理由を伺います。

市長 結果の公表が当初から、5月下旬から6月上旬の予定でした。

質問 今年の事業結果に対する評価と反省点について伺います。

市長 17団体の応募がありました。が、次回は主旨を徹底しながら応募団体を更に増やすため一層のPRに努めたいこと、集計の迅速化を図ることが大きな反省点です。

質問 次回から投票締切日以降、

補助金交付日までの日程を明確に公表して事業実施する考えはないか伺います。

市長 次回実施には公表時期を明確にするよう改善いたします。

質問 小谷木橋架け替えの取組み状況について伺います。

市長 県は架け替えに向けた調査を昨年度着手し、今年度も継続して調査を行っております。

質問 具体的な工事着工の予定について伺います。

市長 現在のところ、そこまでは至っておりません。国土交通省との河川協議や国道397号線のルート変更協議、都市計画変更協議、県条例に基づく大規模事業評



早期着工が望まれる国道397号の小谷木橋架け替え